

科目名 Course Name	教育課程概説 An Introduction to Curriculum				ナンバリング No.	K2-001	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小倉 庸寛						
連絡方法	本館 2 階研究室、C-Learning で対応する						
必修／選択	選択(保育士養成課程必修・幼稚園教諭二種教職課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP4						
授業の概要と 到達目標	① 教育課程の必要性、教育課程の編成の目的が言える。 ② 教育課程の編成の基本原理と方法を理解して行える。 ③ 教育課程を保育場面で活用する実際ができる。						
授業の方法	テキストを中心に講義をしていくが、「調べる・考える学習」を重視した授業展開として、発表やディスカッションも取り入れる。また、理解を図るために、講義の中でレポートを提出させる。						
学習成果	L01						
	L02	考える習慣、発表の実際を身につける。					
	L03	教育課程を正確に理解し、幼児教育を実践する知識、技能を身につける。					
	L04						
課題に対する フィードバック	発表とレポートに対するコメントを講義内にフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	「教育課程総論 新保育ライブラリー」小田豊・神長美津子編著(北大路書房)、「幼保連携型認定こども園要領」内閣府、「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省						
履修上の留意点 やルール等	指定の席に座る。中座はしない。飲食禁止。レポートは必ず出す。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務 経験	平成 22 年より幼稚園副園長。平成 27 年より認定こども園園長。令和 5 年 4 月より保育園を運営し、園長に就任する。(実務経験 24 年)						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	講義の中での的確なメモの作成、積極的な発言等ができる。		15				
レポート／作品	教育課程の保育への活用ができる。教育課程を考慮した保育実践計画となっている。		55				
発表	実習の中で、教育課程との関係を発表できる。			20			
小テスト							
試験	評価Sは、設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、自己の考え方も示されている。			10			
その他							
合 計			70	30			

回数		授業計画
1	授業内容	授業の方法と目的を確認し、その成果の説明をうける
	事前・事後学習	教育課程とは何か？考える。第1章と第2章を読む
2	授業内容	教育課程(全体的な計画)とはⅠ
	事前・事後学習	教育課程を集める
3	授業内容	教育課程(全体的な計画)とはⅡ
	事前・事後学習	何期に分かれているか違いを集める。第4章を読む
4	授業内容	教育課程における法令を知る
	事前・事後学習	必要な法令を調べる
5	授業内容	教育課程(全体的な計画)の作成 乳児編
	事前・事後学習	第9章を読む
6	授業内容	教育課程(全体的な計画)の作成 3歳児編
	事前・事後学習	第8章を読む
7	授業内容	教育課程(全体的な計画)の作成 4, 5歳児編
	事前・事後学習	第8章を読む
8	授業内容	教育課程(全体的な計画)と実習との関係
	事前・事後学習	実習と教育課程の関わりを振り返る
9	授業内容	教育課程(全体的な計画)と日常保育との関係
	事前・事後学習	第8章を読む
10	授業内容	現代の子どもの教育の課題を考える
	事前・事後学習	第11章を読む
11	授業内容	早期教育を考える
	事前・事後学習	早期教育のイメージは何か
12	授業内容	教育課程の歴史的変遷
	事前・事後学習	第11章を読む
13	授業内容	各園の教育課程から学ぶ
	事前・事後学習	事前に教育課程を提示する
14	授業内容	生涯教育と幼児期の関係
	事前・事後学習	小学校、中学校の教育内容を思い出す
15	授業内容	幼稚園教育要領を基準とした教育課程編成の基本原理や、実情に合わせたカリキュラム マネジメントを行うことの意義を理解する。
	事前・事後学習	その新しい言葉を調べる